

○第4次日野市特別支援教育推進計画の具体的な施策の取組み状況

(平成31年3月末現在)

推進目標と具体的な施策

<推進目標> 1

幼児期から学校卒業後まで、かしのきシートを活用した切れ目のない相談・支援体制を、市全体で構築します。

(1) エールにおける総合的な相談・支援体制の充実

項目	30年度	取組状況
エールにおける総合的な相談・支援体制の充実	充実	心理士、保健師、特別支援教育総合コーディネーター等の専門職が連携して相談支援を実施 エール利用者数 1,367人

(2) エールを中心にした関係機関との連携支援体制の拡充 <重点施策>

項目	30年度	取組状況
エールを中心にした関係機関との連携支援体制の拡充	拡充	保育園・幼稚園・学童クラブ・小中学校への巡回相談を実施 各施設と会議やケースカンファレンス等を実施して連携を強化している。

(3) 「かしのきシート」による支援情報の共有と活用 <重点施策>

項目	30年度	取組状況
「かしのきシート」による支援情報の共有と活用	平成29年度より電子システム運用	市内保育園・幼稚園・小中学校の75拠点をシステムで運用 かしのきシート作成者数 1,618人

＜推進目標＞ 2

全ての学校、教室において、子供の特性への理解を図るとともに特別支援教育の視点を生かした質の高い教育を行います。

(1) 教員の理解並びに指導力向上に向けた取組の推進 ＜重点施策＞

項 目	30年度	取組状況
教員の理解並びに指導力向上に向けた取組の推進	推進	指導力向上に向けた障害種別の授業研究及び研修会を実施し、専門性の向上を図っている。 【知的固定】9回 【情緒固定】2回 【言語障害・難聴】3回 【ステップ教室】9回

(2) ひのスタンダードの研究と研究成果の実践

項 目	30年度	取組状況
ひのスタンダードの研究と研究成果の実践	研究・実践	・小・中学校 21 校の通常級において、ユニバーサルデザインの視点での研究事業を実施している。 ・「教科つまづき解消プロジェクト」と名づけ、市内小中学校の全教員から教科で特定の困難を示す児童への対応を【困難の状況】【配慮の意図】【手立て】の項目で事例の収集を行っている。

(3) 校内委員会を中心とした学校における支援体制の充実

項 目	30年度	取組状況
校内委員会を中心とした学校における支援体制の充実	充実	支援体制を充実させるために、校内委員会の定期開催、特別支援教育コーディネーターの複数体制を奨励している。

(4) 学級支援員（介助員）の活用の充実

項 目	30年度	取組状況
学級支援員（介助員）の活用の充実	活用	<p>【通常学級の介助員】 小学校 17 校に介助員 27 人を配置している。</p> <p>【特別支援学級の介助員】 小学校の固定学級 6 学級に 20 人を配置している。 中学校の固定学級 5 学級に 12 人配置している。</p>

<推進目標> 3

一人一人の子供が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、新たな特別支援教育推進体制を構築します。

(1) 小学校における特別支援教室（ステップ教室）の導入 <重点施策>

項 目	30年度	取組状況
小学校における特別支援教室（ステップ教室）の導入	全校配置	<p>以下の小学校 6 校で新たに特別支援教室を導入し、小学校全校に配置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南平小（拠点校）、豊田小、夢が丘小 ・東光寺小（拠点校）、三小、七小

(2) 中学校における特別支援教室（ステップ教室）の導入 <重点施策>

項 目	30年度	取組状況
中学校における特別支援教室（ステップ教室）の導入	導入	中学校全校に配置している。

(3) ニーズに応じた特別支援学級（ステップ教室除く）の新設など

項 目	種 別	30年度	取組状況（H31.4.1 現在）
ニーズに応じた特別支援学級（ステップ教室除く）の新設など	(小学校) 固定学級	継続 (自閉症・情緒障害学級の在り方検討)	【知的】6校 【病弱】1校 小学校の自閉症・情緒障害学級については、他市等の状況を調査。引き続き検討を進める。
	(小学校) 通級指導学級	継続 (言語障害・難聴学級のみ)	2校実施している。
	(中学校) 固定学級	継続	【知的】3校 【自閉症・情緒障害】2校実施している。
	(中学校) 通級指導学級	平成30年度、ステップ教室に移行し、全校配置している。	

(4) リソースルームによる個別指導・支援の充実と全中学校への拡充

項 目	30年度	取組状況
リソースルームによる個別指導・支援の充実と全中学校への拡充	拡充	新たに四中、三沢中に新設し、全中学校（8校）にリソースルーム設置している。

<推進目標> 4

家庭や地域との連携を一層進め、共生社会の実現を目指します。

(1) 市民に向けた共生社会の理解・啓発の推進

項 目	30年度	取組状況
市民に向けた共生社会の理解・啓発の推進	実施	特別支援教育に関するリーフレットを作成し、保護者をはじめ、各幼稚園や保育園、小・中学校や関係機関に配布し、その取組について理解・啓発している。

(2) 交流及び共同学習の推進

項 目	30年度	取組状況
交流及び共同学習の推進	推進	特別支援学校と近隣の学校とで交流教育を実施するとともに、特別支援学級と通常学級との交流教育を実施している。

(3) 副籍制度の推進

項 目	30年度	取組状況
副籍制度の推進	推進	特別支援学校と地域の小・中学校と副籍事業を実施している。また、案内チラシ等で制度の周知と理解・啓発を図っている。

(4) 特別支援学校との連携

項 目	30年度	取組状況
特別支援学校との連携	連携	特別支援学校のセンター的機能として、特別支援学級や特別支援教室の研究会等に参加してもらい、助言を受け、連携を図っている。